

## 【日本語訳】

### 長崎の地から歯科医療の常識を覆す

歯や口の中の健康は全身につながっています。

健康な身体を作る栄養を摂り入れる口が、まず健康でないと体内の栄養がバランスを崩し、やがて糖尿病や高血圧などの病気を引き起こします。

つまり歯科医というのは歯だけを治療するのではなく、まずは患者の全身状態を総合的に判断し、その状況に応じて口腔内を最良の状態にしていく必要があるのです。

こうした考え方は現代医療の中でも広がりつつあり、特に加齢による口腔内の衰えである「オーラルフレイル」をケアしよう、つまり“口腔内の虚弱状態を予防しよう”と、私達、歯科業界でも声を上げ始めてきています。

しかしながら、まだ十分でないのが現状です。私は、この「オーラルフレイルケア」を一般の方に広め、そしてその具体的な予防の方法を研究し、少しでも社会全体に普及させていく活動を始めました。

これからも患者の健康を第一に考えた情報収集や啓蒙活動を続け、全身の健康にも有益な治療法に役立てていければと思っています。

当院は1988年の開院以来、数多くの最先端治療機器を備え、年間100本以上のインプラント治療を行ってきました。これは地方の歯科医院として、殆どありえないほどの治療実績と言えます。

同時に、私は歯科と全身の関わりについて、日々の診療で多くの実践研究を行い、常に患者の歯と全身の健康に向き合い続けてきました。また新しい理論や技術の習得を行っていくのも大切な活動の一環だと捉え、毎年のように国内外の研修や学会に参加しています。

そして、そうした活動で培った知識やノウハウを、常に講演会などの場で発信し、幅広い世代に向けて伝授していくことも重要な役目だと考えています。

私にとってそれは当たり前のことで、歯科医が歯科医たる以上、研鑽を重ねることは当然の責務。日々知識を蓄えていくことは楽しくて仕方ありませんし、大きなやりがいに思います。

現在、私の経営する歯科医院は長崎県内で2院を展開し、一般診療の他、最先端医療の導入も積極的に推進しています。しかし、それだけではなく、私の医院では来院した患者さんには独自の治療方針を掲げ、他院ではあまりみられない診療スタイルを貫いています。

例えば、外来の受付で診察前に全ての患者の検温を行っています。その後、治療で麻酔をかけるときは血圧や血中酸素飽和度を測定し、場合によっては血液検査も行うようにしています。

なぜこのような事をおこなっているか。それは、私達、治療者が、まずは患者さんの今日の状態を把握し、次に患者にとって安全で、患者自身が納得できる「最良な治療」を行うことがプロとして重要だと考えているからです。

その他にも患者とのコミュニケーションの中では、「ビタミン不足の傾向が

あるから食事に気をつけて」とか、「心臓に負担がかかっているようだから、もう少し体重を落として」など、まるで内科医のようにな手厚い指導を徹底しています。そこまでできてようやく、歯科医として満足のいく治療ができると私は思っているのです。

そんな中、これまで数多くの患者さんの状態を見ていて感じるのは「未病の快寿」という現実です。

人はある程度の年齢になると、中性脂肪や血糖値など、何らかの異状を抱えるようになります。しかし、その多くは今すぐ命に関わる程ではなく、本人もいたって元気な状態で日常生活を過ごせています。

つまり、身体にどこか異状があっても「未だ病気にならない状態」が「未病」なのです。

ただ、その未病の状態をそのまま放置しておく、やがて症状は進み、取り返しのつかない状態に至ってしまうことも多々あるのです。

例えば、多くの方々は「自分は健康だから大丈夫」と思っている、口の中は雑菌にあふれ、想像する以上に汚れた環境になっています。

それでも私たちが細菌の感染症に蝕まれずにいられるのは、唾液と胃液のおかげに他なりません。この口腔衛生状態が全身疾患に与える影響については、「口腔衛生を高レベルに保つと悪性腫瘍治療の予後が良い」というエビデンスが発表されている程です。

逆に全身状態が良くなければ、抜歯ひとつにしても治りが悪くなるなどの状況を招いてしまいます。それだけ口腔衛生と全身の健康はつながっているということです。

口は体の入り口であり、全身状態を左右する部位。

口腔衛生によって未病状態をコントロールすることができれば、大事に至らず寿命を全うすることが可能になります。だからこそ、私は歯だけを治療するのではなく、患者の全身状態から様々な診断を下すような歯科治療を続けてきました。

こうした考えを持つ歯科医はまだまだ少ないのが現状ですが、健康保険制度をはじめとする医療制度、また医療業界の現状などを考えると、これから着実に広がっていく考えであることは疑いの余地はありません。

今後も患者の全身を考え、加齢による虚弱の状態である「オーラルフレイル」の予防や最先端治療を心がけ、「医学発祥の地」と言われるこの長崎の地から、歯科医師として多くの方々の健康に寄与していければと思っています。